

1. 地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な方針

本県の県内総生産は8兆853億円（平成16年度）で全国16位、また、製造品出荷額については、平成17年度8兆5,776億円で過去最高（全国11位）となり、概ね順調に推移している。

県内総生産の内訳を見ると、第2次産業のシェアが42.5%で全国平均より15%以上高くなっており、本県は製造業のウエイトが高いものづくり県としての特徴を持っている。

平成17年度の本県の製造業の状況を事業規模別に見ると、中小企業は製造品出荷額では県全体の44.9%、事業所数・従業員数はそれぞれ98.3%と67.2%を占め、地域の雇用の大部分を担っており、これら中小企業が県民生活に与える影響は大きい。本県経済の一層の発展のためには、こうした中小企業の競争力ある商品・サービスの開発、販路の拡大、経営基盤の強化、さらには新たな分野への取組促進を支援・振興することが重要な課題となっている。

本県には39年連続日本一の生産量を誇る「いちご」、収穫量日本一の「にら」、「かんぴょう」、「あさ」や近年その品質の良さでブランド牛としての地位を確立した「とちぎ和牛」などの農林水産物をはじめ、益子焼、結城紬、日光彫などの特色ある鉱工業品及びそれに係る技術並びに「塩原温泉」や「鬼怒川温泉」などの温泉地、世界遺産に登録された「日光の社寺」、国の重要無形民俗文化財に指定されている「山あげ祭」、日本最古の大学である「足利学校」などの豊かな観光資源といった、全国に誇る地域資源が数多く存在している。

これら地域資源を活用した取組を見ると、地場産業である足利の繊維や鹿沼の木工などにおいては、ブランド化を図り新たな取組にチャレンジする動きが見られ、また、宇都宮の餃子・カクテル、佐野のラーメンなど、地域資源を活用した様々な取組は県内各地で約100件にもおよび（平成19年2月F/S調査結果）地域経済の発展に大きく寄与している。

本県経済のさらなる活性化のためには、観光産業をはじめとする多様な産業が力強く成長・発展するよう振興を図ることが重要である。このため、産学連携や農工連携等の垣根を超えたアイデアの結集による新たな商品づくりや新サービスの提供、大都市市場や海外市場を視野に入れたマーケティング戦略、食や健康と融合した観光ルートづくりなど、本県の有する地域資源を有効に活用して新たな事業化にチャレンジする中小企業の取組を推進する。

2. 地域産業資源の内容

当県において、その産業資源を活用した中小企業による事業を促進する意義があると考えられる資源は以下のとおりである。

(1) 農林水産物

名称	地域産業資源に係る地域
いちご	栃木県全域
とちぎ和牛	栃木県全域
はちみつ	栃木県全域
にら	栃木県全域
二条大麦	栃木県全域
生乳	栃木県全域
梨	宇都宮市、芳賀町
宮ねぎ	栃木市
ひめきゅうり	栃木市
かき菜	佐野市
鹿沼こんにゃく	鹿沼市
鹿沼のさつき	鹿沼市
あさ	鹿沼市
はとむぎ	鹿沼市
シクラメン	日光市
鮎	大田原市、那須烏山市、茂木町、那珂川町
八溝杉	大田原市、那須烏山市、那須町、那珂川町
大田原市のうど	大田原市
大田原産唐辛子 「栃木三鷹」	大田原市
白美人ねぎ	大田原市
矢板のりんご	矢板市
しいたけ	矢板市、さくら市、茂木町、市貝町、芳賀町、塩谷町、高根沢町
塩原高原大根	那須塩原市
喜連川温泉なす	さくら市
ゆず	茂木町
ぶどう	岩舟町、大平町
きく	塩谷町

(2) 鉱工業品又は鉱工業品の生産に係る技術

名称	地域産業資源に係る地域
かんぴょう	下野市、小山市、壬生町、上三川町、宇都宮市
宇都宮餃子	宇都宮市
カクテル	宇都宮市
大谷石	宇都宮市
トーションレース	足利市
天明鋳物	佐野市
佐野ラーメン	佐野市
鹿沼土	鹿沼市
鹿沼の建具	鹿沼市
日光ゆば	日光市
日光彫	日光市
たまり漬け	日光市
杉線香	日光市
日光の水	日光市
本場結城紬	小山市、下野市、上三川町、二宮町
真岡木綿	真岡市
烏山手すき和紙	那須烏山市
益子焼	益子町
武者絵	市貝町
クヌギ黒炭	市貝町
尚仁沢湧水	塩谷町
芦野石	那須町
小砂焼	那珂川町

(3) 文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源

名称	地域産業資源に係る地域
関白獅子舞	宇都宮市
鑿阿寺本堂	足利市
足利学校跡	足利市
長林寺本堂	足利市
織姫神社社殿	足利市
巖華園	足利市
樺崎寺跡	足利市
名草の巨石群	足利市
行道山浄因寺	足利市
とちぎ秋祭り	栃木市
鹿沼ぶっつけ秋祭り	鹿沼市
生子神社泣き相撲	鹿沼市
発光路強飯式	鹿沼市
鬼怒川温泉	日光市
日光の社寺	日光市
日光霧降高原	日光市
龍王祭	日光市
琵琶塚古墳	小山市
摩利支天古墳	小山市
真岡の夏祭り	真岡市
塩原温泉	那須塩原市
山あげ祭り	那須烏山市
鉄造薬師如来坐像	西方町
実相寺「木造 出山釈迦像」	西方町
桜町陣屋跡	二宮町

祇園祭	益子町
芝ざくら公園	市貝町
般若寺跡	芳賀町
旧下野煉瓦製造会社煉瓦窯	野木町
渡瀬遊水池	藤岡町
村檜神社	岩舟町
高勝寺三重塔	岩舟町
高勝寺山門	岩舟町
高勝寺鐘楼	岩舟町
大慈寺相輪塔	岩舟町
茶臼岳	那須町
殺生石	那須町
那須温泉	那須町
馬頭温泉郷	那珂川町
唐御所横穴	那珂川町
那須神田城跡	那珂川町
鷲子山上神社	那珂川町
富山の佐々良舞	那珂川町

3. 地域産業資源を用いて行う地域産業資源活用事業を促進することにより当該地域産業資源に係る地域の経済の活性化を推進する方策

1. 個別地域産業資源に関する施策

意識醸成

所管部	事業名	事業概要	対象資源
産業労働観光部	地域ブランド形成支援事業	地域ブランドセミナーの開催 (2地区×2回)	全て

具体的研究

所管部	事業名	事業概要	対象資源
産業労働観光部	地域ブランド形成支援事業	産地組合等が取り組む地域ブランド形成のための研究会活動を支援	鉱工業品又は鉱工業品に係る技術
農政部	野菜産業クラスター推進事業	産地、企業等の連携による商品開発、技術革新、新たな野菜ビジネスの創出等を推進するための構想策定	農林水産物 (野菜)

実行段階

所管部	事業名	事業概要	対象資源
総合政策部	わがまちづくり推進費	特色ある地域資源を有効に活用して、市町村と住民等が協働して地域づくりに取り組み、新たな産業の創出・人の交流促進(地域ブランド化を含む)等を進め、地域経済を活性化するための取組を行う地域づくり団体及び市町に対し助成を行う。	全て

所 管 部	事 業 名	事 業 概 要	対象資源
産業労働観光部	国際見本市出展事業	本県産の加工食品等の海外販路拡大を支援するため、台湾で開催される国際見本市「フード台北」に出展する。	鉱工業品 (加工食品)
	デザイン振興事業	Tマーク商品の取引機会の提供と新たな販路開拓を支援し、Tマーク商品の振興を図る。	鉱工業品
	地場産業振興事業	産地ブランド確立、産地イメージアップのために産地組合等が取り組む事業への支援	鉱工業品 (地場産品)
	伝統工芸品産業振興事業	1 伝統工芸品・伝統工芸士の指定及び認定 2 県指定伝統工芸品展示場の確保及び運営 新庁舎における展示 都内での展示	鉱工業品 (伝統工芸品)
	産学官連携促進事業(技術・資源フォーメーション支援事業)	新商品開発等に係る研究会と産学官連携の手法を習得する場の提供	
	地域振興推進事業	商工会等が、地域経済の活性化を図るため実施する特産品等の地域資源に関する調査・研究等や、特産品等の開発・普及に要する経費に対し助成を行う。	全て

所 管 部	事 業 名	事 業 概 要	対象資源
農 政 部	地産地消の環づくり推進事業	地域の特色を活かした自らの創意による地産地消の取組を促進するため、地域における主体的な活動を支援する。	農林水産物
	そばの活性化対策事業	地産地消による県産そばの生産・消費の拡大を推進し、県産そばを活用した地域の活性化を図るため、各地域における「そば祭り」の開催を支援するとともに、県産そばのPR、ブランド化に向けた取組を行う。	鉱工業品 (そば)
	とちぎブランド推進事業	県統一ブランド化を図るための統一ロゴマーク等の普及、とちぎブランド確立のための新たな品目の発掘・育成等を行う。	農林水産物 (農産物)
	とちぎブランド消費宣伝事業	県産農産物の販路拡大を図るため消費拡大、情報発信、宣伝活動を行う。	農林水産物 (農産物)
	とちぎブランド販路開拓強化事業	卸売市場等を核として県内大口需要者(企業・大学・病院等)への県産農産物の販路開拓を支援する。	農林水産物 (農産物)
	とちぎブランド農産物等輸出促進事業	本県農産物のブランド力の強化を図るため、見本市・展示会を開催するなど農産物・加工品の海外輸出をとちぎ農産物マーケティング協会と連携して促進する。	農林水産物 (農産物)
	「なすひかり」普及推進事業	水稻の新品種「なすひかり」の生産体制の整備とブランド化の取組に対する支援	農林水産物 (米)

所 管 部	事 業 名	事 業 概 要	対象資源
農 政 部	とちぎいちご周年供給モデル事業	新品種「とちひとみ」の生産供給体制の確立、販路の開拓、販売戦略の策定等に対する支援を行う。 ・モデル産地 1	農林水産物 (いちご)
	新生産流通システムトライアル支援事業	園芸作物の生産・流通の革新に向けた先駆的取組を公募・支援を行う。 ・補助限度額 25～300万円 ・実施期間 2年度以内	農林水産物 (園芸作物)
	とちぎの魚プロモート事業	「とちぎの魚ブランド化推進指針」に基づく、生産・流通・消費対策の推進を行う。	農林水産物 (魚)
	食品表示導入基盤整備事業	県産畜産物に対する消費者の安心を確保するための生産体制の検討を行う。 畜産物の生産履歴や飼養管理情報等の公表方法や内容の検証 生産者の指導	農林水産物 (畜産物)
	生乳乳製品流通対策事業	県産牛乳の地産地消を図るための活動に対する助成等を行う。 県産牛乳統一ロゴマークの作成 講演会の開催	鉱工業品 (生乳乳製品)
	高能力和牛資源活用事業	「とちぎ和牛」肥育素牛の安定的供給体制の整備 能力の高い受精卵供卵牛の整備に対する助成(60頭) 能力の高い繁殖牛の受精卵買上げに要する経費(30個)	農林水産物 (とちぎ和牛)
環境森林部	特用林産振興指導費(ハクサンジ 普及促進事業)	品種登録出願中のハクサンジの2品種及び特許出願中の栽培技術を、県内の生産者に対し早期に普及定着させるとともに消費者等への普及宣伝を図る。	農林水産物 (ハクサンジ)

所 管 部	事 業 名	事 業 概 要	対象資源
環境森林部	地域の木造りの家 支援事業（地域材 住宅促進グループ 育成事業）	地域材を利用した木造住宅の建設 を促進するグループの活動支援 （マスメディアによる普及宣伝、 住宅見学会、住宅部材等の開発） を行い、グループの育成強化と新 規グループの組織化に資する。	農林水産物 （県産材）
	地域の木造りの家 支援事業（県産材 活用木造住宅建設 促進事業）	県産材を一定基準以上利用した木 造住宅の建設促進を図るため県木 協連のPR活動やスギ柱材提供事 業を支援する。	農林水産物 （県産材）
	林業センター試験 研究費（木材試験 研究）	木材試験研究（オープンホラリ） で、木材業界等と連携しながら、 県産材の品質向上及び利用技術に 関する試験研究を行う。	農林水産物 （県産材）

ブランド管理

所 管 部	事 業 名	事 業 概 要	対象資源
産業労働観光部	知的財産基盤強化 事業	中小企業の研究者や技術者に知的 財産に係る専門的な知識の習得の 場を提供する。	
農 政 部	知的財産権取得 推進事業	農務部の試験研究機関等で開発さ れた新品種、新技術等の権利取得 を推進するとともに、育成者権、 特許権等の適正な管理を行う。	
	農産物知的財産セ ンター事業	「栃木県農産物知的財産センター」を 設置し、本県農産物知的財産権の 創造、保護及び活用を推進する。	農林水産物 （農産物）

2. 関連する施策

本県においては、中小企業による地域産業資源を活用した事業を促進し、地域経済の活性化を図るため、以下の中小企業支援施策を実施する。

新事業創出に向けた支援環境の整備

産学官34支援機関のネットワークによる総合支援体制「とちぎベンチャーサポートプラネット21」において、各支援機関の有する機能を活用し、挑戦し成長する中小企業による新事業の創出に向けて、チャレンジ精神を持った個人や企業の取組を、研究開発から事業化に至るまで、各段階に応じたきめ細かな支援を行う。

資金調達の円滑化

制度融資等において、中小企業者が積極的な事業展開を図るため、創業・新事業開拓・事業転

換・設備投資など様々なニーズに対応した事業資金を円滑に調達できるよう、支援していく。

産学官連携の推進

「とちぎ産業創造プロジェクト21」において、とちぎ産業創造プラザを核とした産学官で構成するコンソーシアムへの高度な実用化の研究開発の委託を行い、新技術・新製品の開発を推進することで、本県中小企業の競争力の強化を図る。併せて、個別プロジェクト形成を目指す研究グループに対し、活動に要する経費の支援や専門家派遣等を行い、多様な研究プロジェクトを数多く創出する。

経営革新の促進

競争力の高い中小企業の経営に向けて、内外における地域間・企業間競争の激化に対応し、市場を強く意識した商品やサービスの開発、販路開拓など企業の経営革新を、助言・指導、フォローアップ等、総合的・効果的に支援する。

また、「とちぎの中小企業未来チャレンジ事業」を導入し、県内産業支援機関が一体となり、本県中小企業のレベルアップと活性化に向けた活動を展開していく。

ITを活用した経営革新の促進

企業のIT化の促進を図る上でIT産業の役割が重要となっていることから、大学とIT産業の連携による即戦力となるIT人材の育成・確保、ITベンチャーの創業等支援などの取組を行う。

また、ITを活用した経営力の強化を図るため、「ものづくりIT推進事業」を導入し、IT化の取組の重要性を周知する初期の取組から成功事例の創出・連鎖まで、各段階に応じ総合的な取組を推進する。

技術革新等への取組の促進

中小企業の新技術・新製品開発や技術力向上などの技術革新及び製品・サービスの高付加価値を促進するため、産業技術センターにおいて研究テーマの公募による共同研究をはじめ、試験研究機器の開放、共同研究実験室の設置、企業への職員派遣、技術交流会の開催など中小企業の技術ニーズを踏まえた、各種技術支援を行う。

地域中小企業の連携等による新たな展開の促進

地域イノベーション研究会を設置し、継続的な研究を行い、地域産学官連携組織の機能強化を図る。また、とちぎ産業競争力強化事業において、地域の核となる中小企業と複数の小企業群を形成して取り組む新製品開発や事業化を支援することで、中核となる企業の育成と連携企業の技術力向上を促進する。

地域ブランド力の強化

地域ブランドに係る意識の醸成等を図る地域ブランドセミナーの開催、地域ブランド創生の戦略・手法等を学ぶ研究会の開催など、地域ブランドの確立や地域のイメージアップへの取組に対し支援をしていく。

地域密着型ビジネスの振興

コミュニティービジネスの総合相談窓口の開設、農村レストランなど任意グループで活動している団体の経営・組織化支援など、創業意欲のある者の具体的な取組を支援していく。